

イマジネーションの表現

IMAGINATION

Images and technology gallery exhibition Theme I



3D LOVE

—立体視への招待 1993年

3D LOVE

- Invitation to the Stereography 1993

近年、特に日本において、コンピュータによるランダムドット・ステレオグラムの流行が大きな盛り上がりを見せた。各種の出版からテレビ番組

にいたるまで、熱狂的な隆盛がしばらく続き、一つのブームを形成したと言える。このような状況は今回が初めてというわけではなく、過去においてこのような立体視への執着は何度か一世を風靡したことがあった。今回のブームに特徴的なことは、従来のようにただ特権的に3D作品を視ることを楽しむだけでなく、裸眼立体視の技術について一般に普及しようとする動きが盛んだったことである。「大阪3D協会」や「脳内リゾート開発事業団」のような愛好会が、展覧会や研究・普及に大きな役割を果たした。

本展では、歴史的なステレオ写真・ビューワの展示でランダムドット流行の源を探るとともに、ステレオ写真以前の3D的な映像装置の紹介も行った。また、赤瀬川原平や小田英之の3D絵画、藤本十永原の文字による3D、ホログラフィ作品やビデオ3Dなど、現代作家による表現の可能性を展示した。

【出品作家】

赤瀬川原平
細馬宏通
藤本由紀夫十永原康史
パトリック・ボイド
フィル・マクナリー
石川洵十榎山茂雄
小田英之
中ザワヒデキ
石田英範
徳山雅記
長久保光弘

【図版協力】

(株)ソニー・ミュージック・コミュニケーションズ
(株)ピット

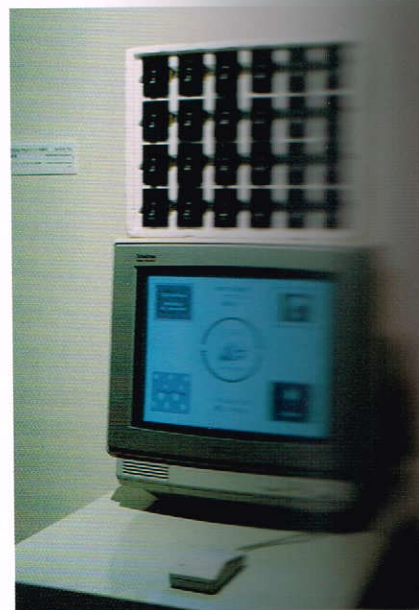
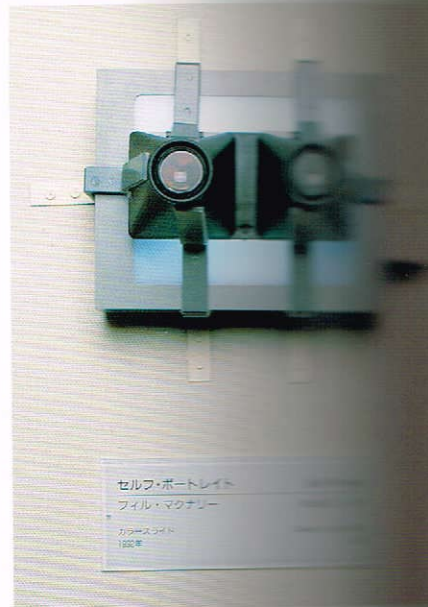
Artists

AKASEGAWA Genpei
HOSOMA Hiromichi
FUJIMOTO Yukio + NAGAHARA Yasuhito
Patrick BOYD
Phil McNALLY
ISHIKAWA Jun + HIYAMA Shigeo
ODA Hideyuki
NAKAZAWA Hideki
ISHIDA Hidenori
TOKUYAMA Masaki
NAGAKUBO Mitsuhiro

3D Plate

Sony Music Communications
Pit

セルフ・ポートレート*
Self Portrait
フィル・マクナリー 1993年
Phil McNALLY 1993



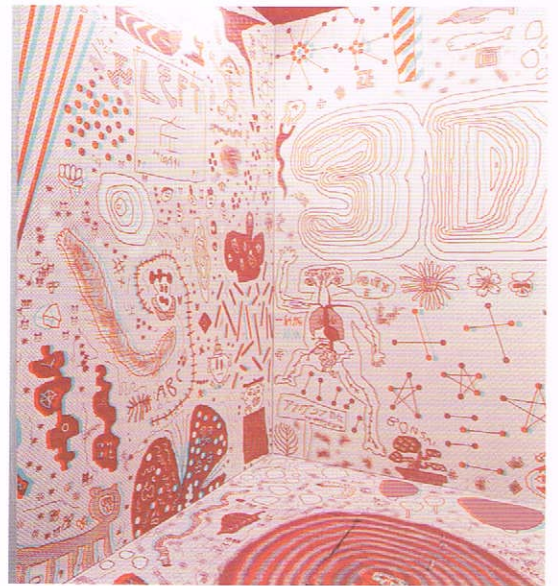
See Emily Play (エミリーは遊ぶ)*
See Emily Play
細馬宏通 1993年
HOSOMA Hiromichi 1993

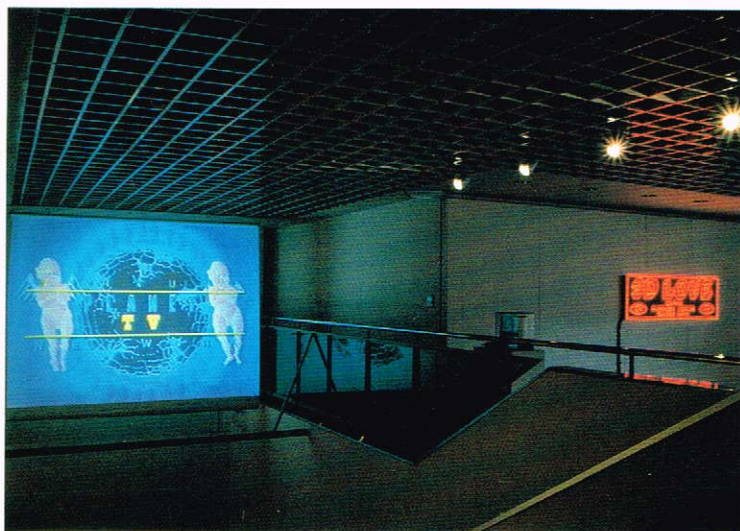


Water and Flowers
Water and Flowers
アンディ・ウォーホル
Andy WARHOL

アナグリフの穴*
The Anaglyph Hole
中ザワヒデキ 1993年
NAKAZAWA Hideki 1993

赤瀬川原平、徳山雅記作品*
Works of AKASEGAWA Genpei, TOKUYAMA Masaki





石田英範作品*
3D works by ISHIDA Hidenori

会場風景
Exhibition

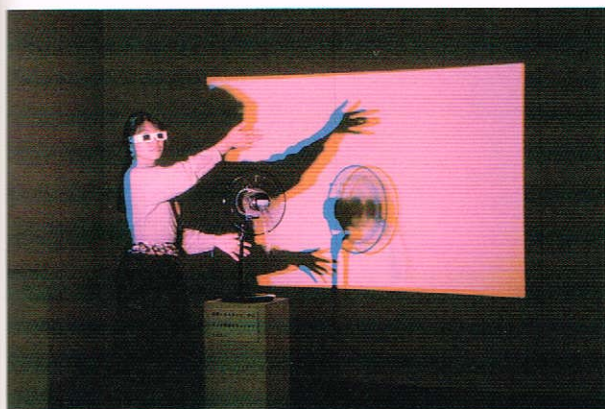
パトリック・ボイド作品*
Holography by Patrick BOYD

会場風景
Exhibition



藤本由紀夫+永原康史作品*
Works of FUJIMOTO Yukio+NAGAHARA Yasuhiro

細馬宏通作品*
3D works by HOSOMA Hiromichi



講演会「脳内リゾート開発のススメ」会場：東京都庁都民ホール
Lecture "The Invitation to The Brain Resort Development Enterprise"

講師：赤瀬川原平
Lecturer: AKASEGAWA Genpei

脳内リゾート開発事業団のメンバーである赤瀬川原平が、徳山雅記を助手に2台のプロジェクターを使ってステレオ写真によるレクチャーを行った。都民ホールでは立ち見も出る中、参加者は実際にフィルターメガネを用いてステレオ視による「脳内リゾート」を体験した。

3Dワークショップ 3D Workshop

アプローチA 島和也

A: Historical Approach by SHIMA Kazuya

アプローチB 塚村真美

B: Practical Approach by TSUKAMURA Mami

アプローチC 長久保光弘

C: Stereo Viewer Craft by NAGAKUBO Mitsuhiro

アプローチD 細馬宏通

D: Conceptual Approach by HOSOMA Hiromichi

アプローチE 三橋純予+關次和子 (東京都写真美術館学芸員)

E: Technical Approach by MITSUHASHI & SEKIJI From TMMP

アプローチF 中ザワヒデキ

F: Radical Approach by NAKAZAWA Hideki

3Dに関する6つのアプローチを用意し、それぞれの分野を得意とする講師によるレクチャーや実習が行われた。3Dの歴史、裸眼立体視の習得、簡易なビューワの制作、3Dを感じる眼のしくみ、3D写真撮影術、現代美術における3D解体など、多様な試みが展開された。